

学びのR

No. 29 (令和2年8月)
 埼玉県教育局南部教育事務所
https://www.pref.saitama.lg.jp/sos_hiki/g2201/index.html

「R」は「reform(改革)」の頭文字です



コバトン

*** 「指導と評価の一体化」で授業改善③ *** ~ 「音楽科」(小学校) 編 ~

*今回は、3つの評価の観点の内、「**思考・判断・表現等**」に注目して、指導と評価のポイントを考えます。

Q. 「音楽科」において育成を目指す資質・能力とは？

A. 生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力

教科等の
目標

音楽の見方・考え方を働かせ、系統性を意識しながら、資質・能力を育成していくことが大切です。

例えば「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」より

(10) 豊かな感性と表現
 心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだり、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

小・音楽科

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することを旨とする。

中・音楽科

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを旨とする。

高・芸術科(音楽)

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを旨とする。(音楽I)

Q. 音楽科における「思考力・判断力・表現力等」とは？

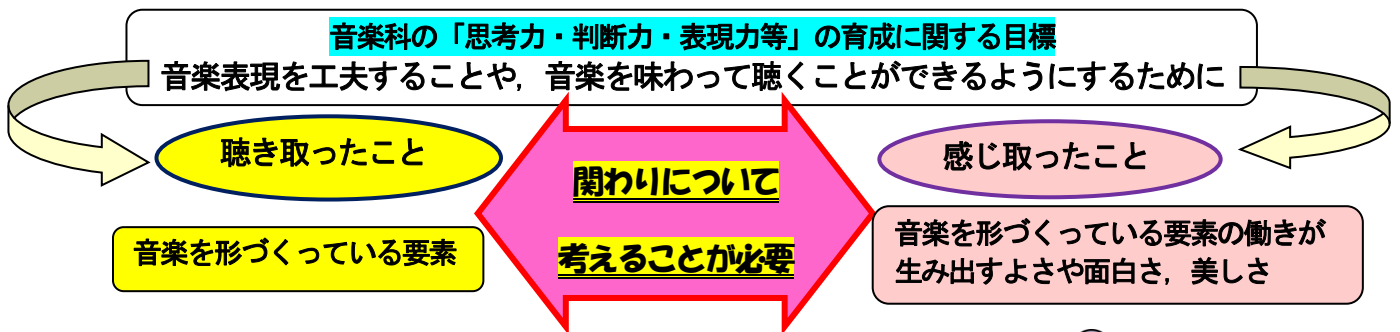
A. **音楽表現を工夫すること**や、**音楽を味わって聴くことができるようになること**。

表現領域 鑑賞領域に関する目標

※【共通事項】(1)アに位置付けられている。

Q. 「思考力・判断力・表現力等」の育成にはどんなことが必要？

A. 「音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、**聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること**」が必要。



Q. 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えるとは？

A. 感じ取ったことの原因を、音楽を形づくっている要素の働きに求めたり、音楽を形づくっている要素の働きがどのようなよさや面白さ、美しさを生み出しているのかについて考えたりすること。

教師の役割

過程において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けられるよう指導を工夫することが大切。

【例えば】学習指導要領(平成29年告示)解説音楽編より 参照ページ→P110, 108

児童の考え	聴き取ったこと	感じ取ったこと
なんだか追いかけてられているような感じがしたのは、 だんだん強くなるのと同時にだんだん速くなっているから。 P110	だんだん強くなるのと同時にだんだん速くなっている。	追いかけてられているような感じがした。

この曲ははじめと終わりに打楽器の激しいリズムと金管楽器の力強い旋律が繰り返される生き生きとした音楽で、聴いていると、自分も前向きに取り組もうという気持ちになれるから好きだ。 P108

はじめと終わりに打楽器の激しいリズムと金管楽器の力強い旋律が繰り返される。

生き生きとした音楽で、聴いていると、自分も前向きに取り組もうという気持ちになれるから好き。

Q. 「思考力・判断力・表現力等」は「知識及び技能」を習得してから育成するの？

A. 表現及び鑑賞の活動を通して、「思考力、判断力、表現力等」、「知識」、「技能」に関する内容を相互に関わらせながら、一体的に育てていくことが重要。

【例】第3, 4学年の歌唱

(解説音楽編P59より)

【児童の考え】



2羽の鳥が呼びかけ合いながら遠ざかっていく感じが伝わるように、強く、やや弱く、やや強く、弱く歌おう。

思いや意図を言葉や音楽で伝え合う。

翻地球

実際に歌ってみる。

教師の役割

- ・高まったことを価値付け、全体で共有する。
- ・児童が互いに聴き合い、よさを認め合う場面を設定するなど

スタッカートやスラー、強弱や速度などの違いによる表現方法を試す。

新たな知識や技能の習得

両方が必要

既習の知識や技能を活用

思いや意図をもつ

Q. 評価の観点「思考・判断・表現」についての趣旨は？

A. 趣旨は下記のとおり。

音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさ感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだし、音楽を味わって聴いたりしている。

※学習指導要領

【共通事項】のア

A表現(1),(2),(3)それぞれのA

B鑑賞(1)ア

に示してある内容に対応

思考・判断のよりどころとなる
主な要素を選択

題材の評価規準「思考・判断・表現」を作成する際のポイント

①	②	③	④
音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、和音の響き、音階、調、拍、フレーズ、反復、呼びかけとこたえ、変化、音楽の縦と横との関係など	～を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、	歌唱・器楽・鑑賞→事項アの後半 例) 第1学年及び第2学年「A表現・歌唱」の例 曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ(て) 音楽づくり→事項アの(ア)又は(イ)	～ている。

Q. 「思考・判断・表現」において「努力を要する」状況と判断されそうな児童への働きかけの例は？

—どのような旋律をつくるかについての思いや意図を見取ることが難しい場合の教師の具体的な働きかけの例—

【例】第5学年の音楽づくり

教師「つくるときにどのようなことを考えましたか？」

児童「何となく和音の音からはじめるようにして4小節つくりました。」

教師「おわりの音はどうしてこうしたのですか？」

児童「シとドに上がると、和音にも合っていて落ち着く感じがしたからです。」

教師「音と音のつなげ方で、どういう感じになるかを考えることは大事です。」

他にも、前時までの学習を想起させて本時の学習へつなげることや、比較聴取等から、思いや意図が膨らむようにする等も考えられます。

(「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校音楽)事例3 P73より)

思いや意図を児童へ尋ねる。

思いや意図をもつことができたことを価値付ける。

学習内容や児童の実態により様々な働きかけが考えられますね。

引用・参考 小学校学習指導要領 文部科学省
小学校学習指導要領解説 音楽編 文部科学省
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 国立教育政策研究所
埼玉県小学校教育課程指導・評価資料 埼玉県教育委員会



「学びのR」
はこちらからも御覧いただけます!

